子育て情報新聞
もも
発行／稲美町子育て支援センター
TEL ・ FAX 079－492－9090
〒675-1115 加古郡稲美町国岡 1−1
いきがい創造センター内
2019年（令和元年） 5月 No. 337

身近なモノをオモチャに！！

子育てルームには、たくさんのオモチャがあります。子どもたちは、それぞれお気に入りのオモチャがあり、靴を片付けるとそのオモチャのところに急いで行き、遊び始めます。車、ままごと、ブロック、人形、すべり台…。そして子ども達の『リラックスの場』と言えば何と言っても『ボールプール』ではないでしょうか？

子育てルームには『手作りオモチャ』もたくさんあります。『家にある廃材や身近なモノで簡単に出来るオモチャ』をコンセプトにスタッフみんなで作っています。ままごと用のテーブルや椅子は牛乳パックで出来ており、だんだん古くなってきているので修理しながらですが『味』も出て来て、子ども達が遊んでいる姿を見ると、なんともほっこりした気持ちになります。魚釣りや金魚すくいも牛乳パックや新聞紙で出来ており、子ども達が遊んでいる横でお母さん方が「え？！これって牛乳パック？」「これは新聞紙？」など驚きの声と共に熱心に作り方を見ておられる姿を見ると嬉しくなり、「家でも作ってみます！」と言って頂けると「ヤッター！！」と大喜びしてしまいます。

「新しいオモチャを買ってあげたけど、すぐに飽きてしまった」と仰るお母さんがたくさんいます。

子ども達は色々な物に興味があり、大好きなお母さんが持っている物や使っている物、身近な物には特に興味を持ちます。時には、牛乳パックを手でたたいて太鼓遊びをしてみたり、新聞紙をちぎったり、丸めたりしてダイナミックに遊んでみるのも楽しいですよ。遊びのヒントはスタッフがお伝え出来ますので気軽に声をかけてくださいね。そして子育てルームのオモチャ等も参考にしてもらえたら嬉しいです！！

ただいま子育て支援センターでは、牛乳パックを集めています。（1000ml サイズ）
ご協力いただけたら助かります。
よろしくお願い致します。

稲美町のホームページからも、この子育て情報新聞「もも」をご覧いただけます。
また、月初めに支援センターのスタッフが子育てに関する思いを綴った「育児日誌」も掲載していますので、あわせてご覧ください。

～ゲストコーナー～

「子育ての思い出」

健康福祉部子育て支援担当部長 兼 こども課長　遠藤孝明

みなさん、こんにちは。いつもお世話になっております。子育て支援担当部長の遠藤です。

この度、機関紙「もも」の原稿依頼がありました。実は、今回で３回目になります。もうネタがないのですが、ずいぶんと昔のことになってしまった我が家の子育てを振り返ってみたいと思います。おつきあい頂けたら幸いです。

さて私には２人の子どもがおりまして、上は男の子で社会人４年目。下が女の子で大学４年生です。

我が家のというより、私と子どもとの関わりにおいてというほうが正しいのかもしれませんが、深く心に刻まれているエピソードがあります。それは、上の子の話なのですが、息子は小さい頃から野球が好きで、小学校１年生から地元校区の少年野球部に入っていました。学校の同学年のお友達もたくさん入部していて、毎週土曜日や日曜日には、学校の運動場で練習がありました。もともと子どものお父さん方が監督やコーチをしておられたと思うのですが、子どもが卒業してもそのまま監督やコーチをやっておられる方もありました。ただ、監督は何年かごとに交代していたようです。

チームもだんだん高学年になってくると、いろいろな試合が増えてきます。練習試合もあれば、登録制の公式戦もあります。５年生・６年生のときは、チームも結構強かったこともあったので、日曜日は毎週のようにどこかに試合に行っていました。

そんな中で子どもが５年生の時に、なかなか試合に出してもらえない時期がありました。息子は小学校の時は結構からだが大きいほうでしたし、１学年上の子が少なかったこともあって、４年生、５年生あたりから試合に出してもらっていました。

当時の監督は、積極的なプレーを好む方でした。ところが、うちの子はいわゆる長男気質なのかどうか、良く言うととても優しい感じなのです。悪く言うと闘志とか積極性があまり感じられないのです。実は、私もそのへんのところは、正直物足りなさを感じてはいたのですが、子どもの性格は急には変わりません。次第に試合に出してもらえなくなり、はじめのうちは、次は出してもらえるかな。今度はどうかなと言う感じでしたが、その状態が続くと子どもよりも私の方が凹んでしまい、ある日息子に言いました。

「なかなか試合も出してもらえへんし、野球部やめるか。」と言うと、息子は「ぼく、やめへん。野球が好きやもん。」「そうか、それやったらええか。がんばるか。」と私。

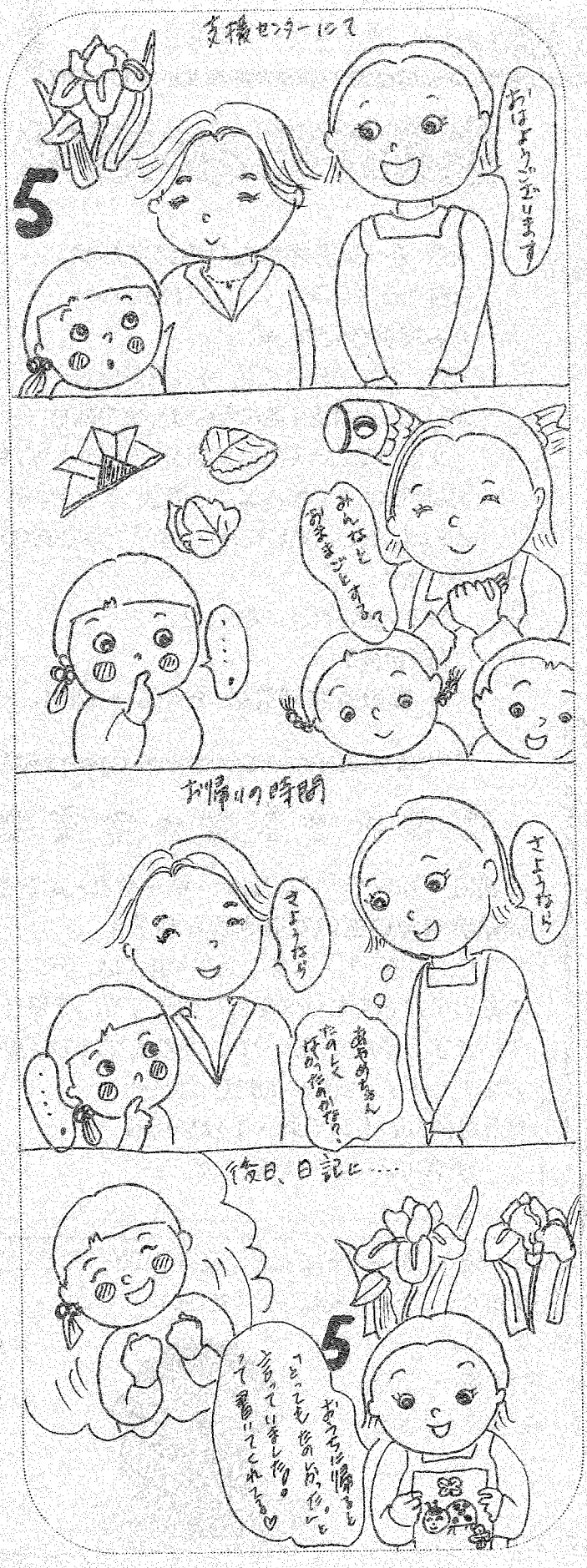
６年生になり、監督が変わると、状況が一変しました。試合にも出してもらえるようになり、４番を打つようにもなりました。県の公式戦で３位になり、チームで台湾遠征にも行きました。

あのまま、監督が変わってなかったらどうなっていたのかなとも思いますが、今はやっぱり子どもが「純粋に野球が好き」ということがとても大事なことだったのかなと思います。

大人はいろいろ考えてしまいますが、子どもは案外気にしてなくて、しっかり「自分」を持っているものですね。

ちなみに、娘は日曜ごとに兄の野球に付き合わされて、今では野球が大嫌いだそうです。

エリザベスママの
「・・・楽しかった！！」



子育てルームの
「人気絵本」

子育てルームには、たくさんの絵本があり、１人のお子さんにつき１回に３冊まで、２週間借りることができます。「借りてみたいけど、どんな絵本がいいのかな」「おもしろい絵本が知りたい」などのお声がありましたので、『H30 年度の貸し出し上位』の絵本をご紹介したいと思います！

～第１位～

・「おにぎりくんがね」
　作・絵　とよたかずひこ
・「おたすけこびと」
　文　なかがわちひろ
　絵　コヨセジュンジ
・「しーっ」
　作・絵　たしろちさと
・「ずかん・じどうしゃ」
　作・絵　山本忠敬

～第２位～

・「だるまさんと」
　作・絵　かがくいひろし
・「ゆびたこ」
　作・絵　くせさなえ

～第３位～

・「あーそーぼ」
　作・絵　やぎゅうまちこ

親子で、絵本の
時間を楽しんで
くださいね！！

子育てインフォメーション

《問合先》 子育て支援センター ☎492-9090

≪出会いの広場≫

下記の時間帯に子育てルームを開放しています！
親子共々、ステキな出会いの場にしてくださいね。おじいちゃん、おばあちゃんもお孫さんと一緒に気軽にお越しください。

５月の開放日

【午前（９時～１２時）】
８(水)・１３(月)・１５(水)・２２(水)・２７(月)
２９(水)

【午後（１時～４時３０分）】
月曜日～金曜日　※祝日は除きます

【ところ】いきがい創造センター　子育てルーム
【対　象】未就学の子どもとその保護者

≪ネンネの会(0歳児)≫

日常の子どもの様子や困っていることを気軽に話し合ったり、親子のふれあいを大切にリラクゼーションできる遊びやわらべ歌を一緒に体験してみませんか。
栄養士、保健師、助産師、子育て支援員が相談に応じます。申し込みは要りません。

【と　き】５月２３日(木)10時～11時30分
【ところ】コミュニティーセンターホール
(新館４階)
【対　象】０歳児とその保護者

図書館おはなし会のお知らせ

☆スプーンおばさんのおはなし会
日時：５月１８日（土）１４時３０分～
☆よちよちえほん会
日時：５月２８日（火）１１時００分～
場所は、図書館１階のおはなし室で開催

文化の森にある図書館では、上記のように図書館司書さんや読み聞かせボランティアの皆さんが、楽しいお話を聞かせてくださる機会があります。
親子でお出かけくださいね。

【問合先】
稲美町立図書館　☎492－7800

《自主グループ「アレルギーサークル・スマイル」の集まりをのぞいてみませんか？》

「アレルギーサークル・スマイル」は、アレルギーのある子どもをもつ保護者が集まって、情報交換しています。子ども同伴でも、保護者だけの参加でも大丈夫ですよ。気軽にお越しください。

※5月20日(月)10時～11時30分
子育てルームで行います。

子育て悩み相談

日頃の育児や人間関係で、少し疲れを感じている時、誰かに話をすることで、気持ちが軽くなることがあります。相談内容については、秘密厳守いたしますので、気軽にお話してください。
※託児を希望される方は、申し込み時にお伝えください。

【と　き】５月１３日（月）　①10時～11時　②11時～12時
③13時～14時　④14時～15時
【ところ】いきがい創造センター　相談室
【相談員】枝川京子先生(臨床心理士)
【申込先】子育て支援センター　TEL４９２－９０９０